くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
（３７５２）４２７１
題字　三木　兼吉

国勢調査にご協力下さい。

久が原地区管内	人口	男	12,380人
		女	12,543人
		計	24,923人
	世帯		10,884世帯

平成12年８月１日現在

楽しい一日をありがとう　鎌倉らくらくハイキング

九月に入っても、残暑の厳しい中、十日(日)に親子四人で鎌倉のハイキングに参加しました。汗をふきふき、山登り。時折吹き抜ける涼しい風に秋をちょっぴり感じて、ホッとする思いでした。

なかなか歩こうとせず、ずっと主人の背中にくっついていた三歳の息子も、青いドングリを見つけると、それを拾いながら山歩きを始めました。ツルツルと滑る下り道の難所も、差し出されたよそのご主人の手を、しっかり握りしめて、どうにかクリア。談笑しながらの楽しいハイキングでした。

昼食時、木陰のテラスに腰をかけると、野生のリスがテーブルまでやってきました。そのかわいらしさに、子ども達は目を見張り、大人は心を和ませ、山の中での食事を満喫したのです。

暑い中、出かける前は、億劫な気持ちの方が先に立っていましたが、足の指先まで痛くなったのに、その疲れが不思議と苦にならず、楽しいほのぼのとした気持ちで帰宅できました。「来年も行こうかな」という娘と私の言葉に、主人は「へーッ」と少し驚いた様子。車で外出することの多いわが家にとって、今年のハイキングは、一味違った鎌倉を楽しめましたし、銭洗弁天、大仏、長谷寺などを廻り、昔の遠足を思い出しました。

小さな子どもを連れて行き、皆様に親切にしていただきました。青少対の方々のご尽力にも感謝したいと思います。ありがとうございました。

（中島尋美）

新自治会長あいさつ　ヒルズ久が原自治会長　矢部信一

当自治会は、本年4月に久が原地区の5番目の自治会として新生発足しましたが、この度初代津山会長からバトンタッチをさせて頂くことになりました。

就任後、各種行事・活動に順次参加の機会を頂いておりますが、何分一つ一つが初めての経験であり、大田区役所及び連合会長、さらには他地区の自治会長と連携を図って、一体となって久が原地区の安全とコミュニケーション作りに努めたいと思います。

皆様方のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

健康講習会　元気づくりのコツを学ぶ

去る八月六日(日)、久が原会館において、「明るい社会づくり運動の会」主催による、夏季講演会が開催されました。

講師は、地元の歯科医師小原直美先生で、「夏から秋にかけての健康について」と題してのお話でした。ポイントは次のとおりです。

①気候の変化と体力の維持
②食生活の改善が大切
③夏場の運動と新陳代謝

八十余名の参加がありましたが、さまざまな例を引いてのお話は、大変好評のうちに終了しました。

（川又　浩）

みんなで楽しく　道々橋寿会

寿会は、道々橋自治会内在住の六十歳以上の方ならどなたでも入会できます。会費は、一か月百円です。

催しは、寿会全体として総会と旅行があります。その他に分科会として、①ゲートボールの会②お話し会③踊りの会④園芸の会⑤歩く会があり、それぞれ各自の趣味に応じて参加活動しています。

大田区及び道々橋自治会より補助金が出されて主な活動費になっております。

（三部金光）

お知らせ　久原小学校の改築について

平成十三年度に久原小学校の改築着工を目標に、現在、設計の作業を進めています。予定としては、平成十二年十二月ごろプール付近の解体作業、続いて遺跡発掘作業の順序で行われます。平成十六年度中には、久が原特別出張所との合築で、第二校庭の敷地部分に完成する予定です。

工事着工になりますと何かとご迷惑がかかるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

問合先　教育委員会施設課
電話　（５７４４）１４３３

松仙幼稚園にボランティア　中学生や高校生との交流を通して

この夏休みは、中学生・高校生のボランティアを募り、園庭開放日に一緒に遊びました。そこに大森十中生十九名と大森高校生二名が参加してくれました。一緒に空箱製作をしたり、鬼ごっこや砂場遊びをしたり、赤ちゃんを抱っこしたりするなど、優しさを発揮してくれました。

園児たちは喜び、保護者の方から感動と感謝の感想をたくさん頂きました。中学生も「自分も幸せだった」「来年も来たい」などの感想です。この出会いは乳幼児から中学・高校生ともに育つ場になったと実感いたします。

さらに、都立雪谷高校との交流会を二回行いました。

一回目は三年生のギターやリコーダーの演奏に合わせて歌ったり、体を動かして遊んだりしたのです。二回目は、ブラスバンドの演奏会に招待されました。会場には園児が喜ぶような人形を飾り、選曲も園児の知っている曲の演奏会でした。このような交流を通して、信頼と優しさを学びあいたいと思います。

（松仙幼稚園長　中山博子）

こどもを犯罪から守るために　「こども110ばんのいえ」をよろしく

久原小学校と松仙小学校のPTAでは、子ども達を犯罪から守るために、「このほど「こども110ばんのいえ」のステッカーを作りました。黄色地に警察署のマスコット「ピーポくん」の絵が目印です。

PTA会員の家庭を中心に地域の方々にも協力を呼びかけて、今秋より配布を開始しました。

このステッカーをまちかどで見かけることで、子ども達は、危険なときには誰かに助けを求める知恵を学び、また犯罪行為を未然に防ぐ力となることがねらいです。

地域が協力して子ども達を見守ろうというこの活動を多くの皆様にご理解いただき、一層のご協力をお願いします。

（久原小・松仙小ＰＴＡ）

俳句

こおろぎや風が持ち去る紙コップ　田井紅蔦
月皎と白磁の盃のひとり酒　島村洋子
秋風や分去れに立つ道祖神　田口静枝
低迷の景気不安や秋暑し　鈴木津久子
曳き船の川澱みみる残暑かな　新井きみ
福耳は長寿相とや敬老日　村野陽子

夏休み子どもキャンプ
楽しかった川遊び

夏休み子どもキャンプは、今年も富士山の麓、御殿場市の国立青年の家で8月27日～28日の二日間、小学生70名、引率者を含めて約110名の参加で行われました。

当日は素晴らしい晴天の下、バス二台で出発、途中平和公園で昼食をとり、青年の家に向かいました。到着後、開村式、キャンプ場で8班に分かれて毎年恒例のロープタイ作りをしました。夕食は全員でのカレーライス作り、自然の中での味は格別でした。夕食後はジュニアリーダーを中心にキャンプファイア、全員歌と踊りで盛り上がりました。翌朝は6時に起床し、雪谷地区と合同のラジオ体操、そして子ども同士の対面式を行い、親睦を深めました。

朝食後、神奈川県山北町にあるふれあいビレッジに向かいました。到着後水着に着替えた子ども達は人工の川での水遊び、猛暑の中でも子ども達は元気いっぱいでした。マスのつかみ取りでは、一匹もつかめない子どももいましたが、それなりに楽しんだ様子でした。水遊びをしている間、大人達でマスを調理。炭火焼では苦戦しましたが、子ども達の「おいしい」と言う声を聞き、ホッとしました。昼食後閉村式、名残を惜しみつつ村を後にしました。この2日間子ども達は都会では味わえない様々な経験をし、きっと良い思い出となるでしょう。

猛暑の中、大きなケガもなく元気に戻れましたこと、ジュニアリーダー、引率者の方々に深く感謝申し上げます。

（実行委員長　小倉　泰）

EVENT 情報

区民スポーツまつり
【開催日】10月9日10時～（体育の日）
【会　場】大田区体育館
　　最寄駅　京急線梅屋敷
※地元の綱引きチームドリームスの応援にみんなで行きましょう。

虹まつり
【開催日】10月29日10時～
【会　場】上池台障害者福祉会館
【電　話】3728－3111
※演劇・ゲームコーナー・バザー・模擬店など、楽しい催しがいっぱいです。

そのほかにもいろいろな行事があります。お気軽にご参加ください。

大森十中校区
健全育成推進協議会講演会

去る七月十四日（金）夕方、今年度第一回目の十中校区健全育成推進協議会の開催に伴い、当協議会、第3分区保護司会、久が原青少対の共催による講演会が、同校の体育館を会場に開催されました。

今回は、文部省委託のスクールカウンセラーでもある、お茶の水女子大学助教授の伊藤美奈子先生をお招きし、「家庭教育における保護者のあり方」と題した貴重なご講演を頂きました。

当日の参加者は、十中校区の学校関係者やPTAの方々を始め、各自治会、保護司、青少対委員など総勢約百名で、誰もが講演に熱心に耳を傾け、メモを取るなどして、それぞれの家庭に有意義なお話を持ち帰っていました。

思春期の子ども達は、心に不安や悩みを持ちやすく、親にとっては、子育てが最も難しい時期だと思います。多様な事例を挙げての先生のお話は、日頃、各々の家庭で抱えている問題を解決する手助けとなったことでしょう。

（青少対　道上ミヨ子）

東京都青少年洋上セミナー
リーダー研修に参加して貴重な体験をした

僕は、7月29日から8月2日まで北海道研修に参加しました。最も貴重な体験は、帯広の農家でのファームステイでした。広い畑でコンバインにも乗せていただいたり、草取りもみっちりやりました。農作業の大変さを考え、目がくらむ思いがしました。

帰路の洋上での、副団長のゲーム指導も、これから地域で役立てたいです。

研修中にたくさんの友達もできました。帰って帯広の農家から長芋が送られてきた時には、農作業の大変さを思い出しました。この方々との関係を大事に、研修で得た経験を活かしていくつもりです。

（東調布中2年　岡本健作）

委員会からのお知らせ

十月一日は、国勢調査が全国一斉に実施される日です。

大正9年より五年ごとに行われているこれは、行政の基礎となる人口・世帯の実態を明らかにする、わが国の最も基本的な統計調査です。

これらの資料は、雇用・教育・都市整備など、将来の政策形成において、様々に利用されています。できる限り正確なデータが蓄積されますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

一方、前号で少し触れました、学校避難所運営協議会は、各校で人選が進んでいます。

協議会会長には、久原小…宮田東自治会長、松仙小…松田西自治会長、大森七中…梅澤学校長に各々決まりました。

盛会だった納涼盆踊り

すっかり夏の行事として定着した納涼盆踊りが、今年も東久が原商栄会、ライラック通り振興会の主催で、七・八月中に、ダイシン駐車場、ライラック通りで開かれました。

両会場ともそれぞれ特色を出し、ダイシン会場では二日間の盆踊りの他に、フラダンス、フラメンコもあり、観衆の拍手を集めました。

ライラック通りも「車両通行止」にして、やぐらを中心に通り一杯に踊り手が続き、夜半までにぎわいました。そして、宝くじ式の抽選会も人気を集めました。

両会場とも夕刻には子どもが目立ち、金魚すくいなどの出店に集まっていました。

（天野重夫）

文化教室（その3）

〈俳句〉鶴鴇（せきれい）会
①場所　久が原クラブ
②日時　第三火曜日午後一時
③講師　甲斐すず江先生
島村（3754）8804又は
田口（9754）0167まで

〈囲碁〉久が原囲碁クラブ
①場所　久が原会館
②日時　毎週火曜日午後一時
③世話人　山脇辰朗
山脇（3753）1084又は
鈴木（3753）1026まで

人事異動

ヒルズ久が原自治会長
新　矢部信一
旧　津山誠一

田園調布消防署久が原出張所長
新　石沢國雄
旧　菅　広信

編集後記

●秋を迎え、防災や、避難所設営など計画され、一方、地域では、五年に一度の国勢調査が実施されております。

●小さな情報紙「くがはら」が大きな地域発展のために少しでもお役に立てば幸いと願っております。

（かわまた）

会では、災害資材の備蓄状況を把握するなど、いよいよその活動を開始しました。

ご承知のとおり、三宅島では、止まない火山活動のために全島民避難という決断がなされました。幸い平穏無事な大田区でも、不測の事態に対し、秩序ある避難所開設の重要性が大いに高まっています。

これからも協議会では、会長以下地域の有職者を交えて検討を重ね、内容を逐次お知らせしていく予定です。